

発生予察情報

特殊報第1号

平成24年9月27日
秋田県病虫害防除所

キオビトガリメイガの発生について

1. 病虫害名：キオビトガリメイガ *Endotricha flavofascialis affinialis* South

2. 発生作物：りんどう

3. 発生の経過

平成24年6月、県中央部で栽培されているりんどうにおいて、生育不良や萎凋がみられ、掘り上げてみると、根は著しく食害され乳白色の幼虫が確認された。

秋田県農業試験場が同定を行ったところ、キオビトガリメイガであることが判明した。本種の発生確認は大分県、山口県、岩手県に続いて4例目である。

4. 特徴

- (1) 幼虫は頭部が茶褐色、腹部が乳白色の体色を呈しており、体長は大きいもので約15mmになる（図－1）。幼虫はりんどうの根部付近に生息し、根部を穿孔して摂食することにより（図－2）、地上部の生育を著しく低下させる（図－3）。
- (2) 成虫は開長約16～18mm、前後翅とも赤紫色で黄色の帯をとまっている。（図－4）。
- (3) これまでの調査では、成虫の発生は7月上旬～9月上旬に認められた。また、幼虫は6月にはすでに認められ、9月上旬には次世代幼虫が確認されたことから、本県における年間発生世代数は1～2回であると推測される。
- (4) 本種の寄主植物はりんどうのみが確認されている。

5. 防除対策

- (1) 現在、本種に登録のある薬剤はない。
- (2) 被害が確認された場合は、早期に被害株を根部ごと抜き取り、ほ場外で焼却する等、適切に処分する。
- (3) 本種の発生が確認された場合は、最寄りの県の指導機関に連絡し、具体的な防除方法を相談する。

6. 資料



図－1 キオビトガリメイガの幼虫



図－2 根部の食害痕



図－3 被害ほ場の様子（6月上旬）



図－4 キオビトガリメイガの成虫

【 問い合わせ先 】

秋田県病害虫防除所

TEL 018-860-3421

秋田県農業試験場

TEL 018-881-3327

掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>